

基本目標4 男女（みんな）が健康で安心して暮らせるまちづくり

主要課題1 ●子どもが健やかに育つ環境整備

施策の方向1 ●子育て環境の整備と充実

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効果
19再 子育てハンドブックの作成・配布 《概要》 母子健康手帳交付時に、子育てハンドブックを配布し、家庭における子育ての情報を提供する。	・地域の子育て中の親子への子育て情報誌「トライアングルブック」の提供（第4回改訂版、平成23年10月発行） ・平成25年度は、子育て支援事業担当機関（児童福祉課・ファミリーサポートセンター・家庭児童相談室・保健センター・ねっこ（まつやま保育園）・夢っ子（地域子育て支援センター・夢っ子））にエンジェル（守谷保育園）が加わり、相互に連携して第5回改訂版を作る予定。 ・地域の公民館、市役所、保健センター、各子育て支援センターに配備した。転入者が多い中、新しい方々にも行き渡るよう保健センターの乳児検診時や、母子手帳配布時に一緒に配布するようにしている。	児童福祉課	2	a b c h
92 次世代育成支援対策行動計画の進行管理の実施 《概要》 毎年度の事業実施状況について進行管理を行い、総合的な子育て支援が実施できる環境を整備する。	次世代育成支援対策行動計画「後期計画」各事業の進捗状況について、「次世代育成支援対策行動計画策定委員会」を開催した。平成24年7月10日に、平成23年度各事業の進捗状況を報告し、委員より各事業に対する質問や意見等をいただいた（会議開催前に、各事業担当者に対して「平成23年度事業進捗状況」の調査報告を実施）。	児童福祉課	2	f h

93	地域子育て支援センター事業の充実 《概要》 子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てができるよう、個々の家庭に応じた支援を行うとともに、子育てサークル等の育児支援を行う。	【地域子育て支援センター・夢っ子】 広場の自由開放の実施 <table><tr><td>開催日数（日）</td><td colspan="2">1,014</td></tr><tr><td>実施箇所</td><td colspan="2">夢っ子ひろば 4 箇所, 出前広場(3 箇所), 園庭開放（1 箇所）</td></tr><tr><td rowspan="2">参加者数（人）</td><td colspan="2">20,689</td></tr><tr><td>親 9,649</td><td>子 11,040</td></tr></table> 行事 <table><tr><td>行事名</td><td>回数(回)</td><td colspan="2">参加人数（人）</td></tr><tr><td rowspan="2">夢っ子まつり</td><td rowspan="2">1</td><td colspan="2">105</td></tr><tr><td>大人 56</td><td>子ども 49</td></tr><tr><td rowspan="2">健康スポーツフェスティバル</td><td rowspan="2">1</td><td colspan="2">114</td></tr><tr><td>大人 49</td><td>子ども 65</td></tr><tr><td rowspan="2">夢っ子コンサート</td><td rowspan="2">1</td><td colspan="2">428</td></tr><tr><td>大人 219</td><td>子ども 209</td></tr></table> *夢っ子祭りは常総運動公園改修工事のため、秋祭りとして規模縮小し、地域子育て支援センターで実施 子育て支援 <table><tr><td>内容</td><td>回数（回）</td><td colspan="2">人数</td></tr><tr><td rowspan="2">子育て講座</td><td rowspan="2">39</td><td colspan="2">718</td></tr><tr><td>大人 356</td><td>子ども 362</td></tr><tr><td rowspan="2">サークル活動場所の貸出し</td><td rowspan="2">168</td><td colspan="2">1,913</td></tr><tr><td>大人 918</td><td>子ども 995</td></tr></table> 育児相談 ・ 広場での相談相談・電話等 件数：60 件 ・ ぽかぽか子育て教室（11 回開催）件数：96 件	開催日数（日）	1,014		実施箇所	夢っ子ひろば 4 箇所, 出前広場(3 箇所), 園庭開放（1 箇所）		参加者数（人）	20,689		親 9,649	子 11,040	行事名	回数(回)	参加人数（人）		夢っ子まつり	1	105		大人 56	子ども 49	健康スポーツフェスティバル	1	114		大人 49	子ども 65	夢っ子コンサート	1	428		大人 219	子ども 209	内容	回数（回）	人数		子育て講座	39	718		大人 356	子ども 362	サークル活動場所の貸出し	168	1,913		大人 918	子ども 995	児童福祉課	2	a b c e h
開催日数（日）	1,014																																																					
実施箇所	夢っ子ひろば 4 箇所, 出前広場(3 箇所), 園庭開放（1 箇所）																																																					
参加者数（人）	20,689																																																					
	親 9,649	子 11,040																																																				
行事名	回数(回)	参加人数（人）																																																				
夢っ子まつり	1	105																																																				
		大人 56	子ども 49																																																			
健康スポーツフェスティバル	1	114																																																				
		大人 49	子ども 65																																																			
夢っ子コンサート	1	428																																																				
		大人 219	子ども 209																																																			
内容	回数（回）	人数																																																				
子育て講座	39	718																																																				
		大人 356	子ども 362																																																			
サークル活動場所の貸出し	168	1,913																																																				
		大人 918	子ども 995																																																			

	【子育て支援センター「ねっこ」】 親子活動（戸外遊び等） 回数 22 回 参加者数 526 人（大人 260，子ども 266） 講座（お母さんのリフレッシュ等） 回数 7 回 参加者数 95 人（大人 47，子ども 48） 食育事業（レスト・れん） 回数 12 回 参加者数 597 人 園庭開放（実施曜日：月～金） 参加者数 1,090 人（大人 517，子ども 573） 育児相談 回数 85 回 イベント ・ねっこフリーマーケット（2 回，419 人） ・ねっこ運動会（1 回，222 人）															
86再 ファミリー・サポート・センター事業の充実	【在宅援助】習い事の送迎（定期利用），冠婚葬祭出席，保護者の就労による預かりや，保護者の疾病や兄弟の疾病による一時的な預り利用が増加傾向。 【センター型援助】短時間就労のための利用が増加傾向。 <table><tr><th>利用年度</th><th>会員数 （人）</th><th>依頼件数 （件）</th></tr><tr><td>平成22年度</td><td>1,050</td><td>3,579</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>1,159</td><td>4,519</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>1,227</td><td>4,521</td></tr></table> 平成 24 年度の一時預かりの減は，定期利用者が幼稚園入園で使用しなくなったため。 *在宅援助依頼理由（保育所登所前の預かり，保育所送迎，児童クラブ迎えと預かり，習い事の援助他）	利用年度	会員数 （人）	依頼件数 （件）	平成22年度	1,050	3,579	平成23年度	1,159	4,519	平成24年度	1,227	4,521	児童福祉課	2	h
利用年度	会員数 （人）	依頼件数 （件）														
平成22年度	1,050	3,579														
平成23年度	1,159	4,519														
平成24年度	1,227	4,521														

	＊一時預かり利用理由（就労，買い物，通院，行事参加，習い事，その他） <table><tr><td></td><td>平成 22 年度</td><td>平成 23 年度</td><td>平成 24 年度</td></tr><tr><td>在宅件数</td><td>2,441</td><td>3,486</td><td>3,615</td></tr><tr><td>一時預かり数</td><td>1,138</td><td>1,033</td><td>906</td></tr><tr><td>合計（件）</td><td>3,579</td><td>4,519</td><td>4,521</td></tr></table> また，市民協働推進課との連携により，保育ルーム（市役所各課主催の会議・講演会・講座・説明会等における託児ルームでの託児）へのサポーター派遣を実施 ＊平成 24 年度実績：年間 29 回・サポーター延人数 113 人		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	在宅件数	2,441	3,486	3,615	一時預かり数	1,138	1,033	906	合計（件）	3,579	4,519	4,521			
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度																	
在宅件数	2,441	3,486	3,615																	
一時預かり数	1,138	1,033	906																	
合計（件）	3,579	4,519	4,521																	
8 2 再 放課後子どもプラン事業の充実 《概要》 【放課後こども教室】 地域の大人と子どもとの交流を図るため，地域住民の参加・協力により子ども達が放課後安全に過ごせる居場所を提供する。 【放課後児童クラブ】 保護者の就労等により，放課後に家庭が留守になる小学 1 年生から 3 年生の児童を対象に，遊びや集団生活の場を提供する。	・仕事により，放課後に家庭が留守になっている児童について，専用教室と空き教室で遊びの指導や生活指導を行い児童の健全育成を図った。 【児童クラブ】全小学校（9 校）実施，利用人数：604 人 【放課後子ども教室】全小学校（9 校）実施，利用人数：469 人 ・放課後子どもプラン事業として児童クラブ登録の児童も放課後子ども教室に参加し，異年齢の子どもや地域の大人と交流したり，ボランティアや指導員からいろいろな遊びや工作を教えてもらう等，子どもの安全・安心な居場所が広がった。 ・この事業にはボランティアはじめ，指導員等の職員や学校関係等多くの人達が参加し，まさに男女共同参画により成り立っている。今，人間関係がつかれずに会社で働く事ができない青年が増えていると聞くと，この事業により，子どもたちが，遊んだり・喧嘩したり体験的経験をすることにより，将来，普通に人と人の輪が広がることのできる人間になれることを期待したい。	生涯学習課	1	f h																

94 子育てホームページにおける情報提供 《概要》 市の子育て関連機関のホームページを充実させ、子育てに関する総合的な情報を提供する。	・守谷市ホームページの子育て広場ウェブ版の子育て支援センター事業欄や新着情報欄で広場事業情報、子育てサークル情報、食育情報、子育て情報を提供してきた。 ・平成24年度は、行政と民間の子育てに関する情報をミックスした子育てに特化したサイトを構築し、民間企業からの子育て情報（食品メーカーによる食育コンテンツや金融機関による子育て費用節約テクニック等）を掲載し、広告費用をサイト運営費用に充当することを検討したが、実施できなかった。 ・平成25年度から本格的な導入に向けて進めていく予定。	児童福祉課	4	g
95 ブックスタートの実施 《概要》 乳幼児期から読書の楽しさや、絵本を介した親子のふれあいの大切さの認識を図るため、4か月児健康診査時に「ブックスタートパック」を配布する。	乳幼児期からの読書の楽しさや絵本を介した親子のふれあいの大切さを再認識してもらうため、保健センターで行われている3～4か月児健康診査の際に、絵本2冊を含む「ブックスタートパック」を配布した。 健診及びブックスタートに参加できなかった方に対しては、保健センター職員が直接訪問し、ブックスタートパックを手渡した。 また、守谷市内への転入者に対しても、図書館に来館していただき、ブックスタートパックを配布した。 なお、ほとんどが乳児と母親の組み合わせでの参加だが、父親が加わることもあった。 ＊平成24年度実績 実施：24回、配布親子数：679組（H23 686組）	中央図書館	1	c g h
96 医療福祉費支給制度の充実 《概要》	茨城県医療費助成制度（以下マル福制度）で、小児（0歳から小学校3年生）、妊産婦、重度障がい者、ひとり親（18歳未満の児童・20歳未満の障がい児・20歳未満の高校在学者を監	国保年金課	1	f h

乳幼児及び児童，妊産婦，重度障害者並びに１８歳未満の児童を養育するひとり親家族の健康の保持増進を図り，福祉の向上，少子化対策及び子どもの健やかな成長のため，医療費の一部を助成する。	護するひとり親及び子）に対し，医療保険により受診した際の医療費助成を行った。 また，守谷市単独事業「すこやか医療費助成事業」を実施し，所得制限によりマル福制度を利用できない小児及び妊産婦，並びにマル福制度対象外の小学４年生から６年生までの小児に対する医療費助成を行った（平成２５年４月からは新たに対象を中学３年生まで拡大）。 医療費の助成を行うことにより，経済的負担を軽減し，安心して医療を受けやすい環境を整えることにより早期治療へもつながった。さらに健康の保持と生活が安定することにより，男女の別なく社会復帰や継続して仕事に従事できる環境をつくることが可能となった。			
８４再 子育て相談の実施 《概要》 電話や窓口で相談を受けたり，保育所において必要な情報や関係機関の紹介を行う。	（児童福祉課） 市内各施設で，来所相談・電話相談・メール相談を実施。 ・地域子育て支援センター・夢っこ／未就学児の相談を受ける。 ・地域子育て支援センター・ねっこ／未就学のお子さんの相談を受ける。 ・家庭児童相談室／０歳から１８歳までの子どもに関する相談を受ける（来所相談は要予約）。 ・南北児童センター（ミナーデ，キターレ）／センター利用者の育児相談を受ける。 ・公立保育所／就学前のお子さんの相談を受ける ・保健センター／子育て支援センター又は公立保育所から１名派遣し，３歳５か月健診時に育児相談を実施。	児童福祉課 保健センター	２ １	a b g h

	(保健センター) ・保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士・臨床心理士が子育て相談を実施。 ・新生児訪問や乳幼児健診，育児健康相談会ほか，面接相談・電話相談・健診や教室時も子育て相談を実施。 【内容】 ・乳幼児健診： 4 か月児健診 年 24 回：661 人(96.6%)， 1 歳 6 か月児健診 年 27 回：678 人(97.6%)， 3 歳 5 か月児健診 年 26 回：664 人(96.7%) ・妊婦訪問：3 件 産婦訪問：518 件 ・新生児・乳児訪問：489 件 未熟児訪問：44 件 幼児訪問：13 件 ・育児健康相談会：年 9 回（延 619 人） ・発達相談会：年 24 回（延 72 人） ・母子の心の健康相談会：年 12 回(延 22 人) ・母子面接相談：(延 204 人) ・電話子育て相談：(延 338 人) 【効果】 ・育児の情報提供のほか，乳幼児健康診査受診者の発達確認のため心理相談員との相談を継続し，治療や療育教室につながり，子どもの発達や不安をもつ保護者を支えることができた。また，育児不安やストレスを抱える保護者に対し個別相談を行い育児不安の解消が図った。			
--	--	--	--	--

85再 家庭児童相談の実施 《概要》 家庭における児童の健全育成を図るため、児童相談及び指導を行う。	0歳から18歳未満の児童と親、また、それに関わる方の相談を電話・来所にて行った。 ＊相談件数 平成23年度 122件 延回数 1,210回 平成24年度 143件 延回数 1,618回	児童福祉課	1	a b c g
97 小中学校における教育相談の実施 《概要》 小学校において担任と心の教育相談員による相談、中学校では担任による相談に加えてスクールカウンセラーを配置している。また、不登校児童への適応指導教室での指導、指導員による相談や家庭訪問を実施する。	・心の教育相談員（3人、1,344時間）、スクールカウンセラー（2人、507時間）の学校への配置や教育相談員（2人、252日）による面談、電話相談を実施。 ・適応指導教室「はばたき」で、相談活動（4人、192日）を実施。	指導室	1	b f g
17再 健全な食生活を実現するための食育の推進 《概要》 健全な食生活を実現するための能力を養成するための講義や指導、調理実習等を行う。	（指導室） 日々の男女混合グループによる給食班での配膳、給食センター栄養士の学校訪問による給食指導を実施し、食育に対する意識高揚を図った。 また、男女共同による稲作体験、飯盒炊飯体験を通して共同、協力を心がけた。 （児童福祉課） 食に関する相談及びコミュニケーションを育むクッキング講座及び離乳食教室を開催する。	指導室 児童福祉課 保健センター 学校給食センター	2 2 2 2	c g a c c g g

	○親子クッキング（市内在住4～5歳児とその保護者） 回数6回，参加人数 154 人（役立つ・関心をもった回答 75%） （内容）野菜の摂取をたかめる食育（2回），食への関心を高める食育（2回），父親と児童の食育（2回） ○親子クッキング（市内在住2～3歳児とその保護者） 回数3回，参加人数60人（役立つ・関心をもった回答 88%） （内容）野菜の摂取を高めるおやつクッキング ○食の相談事業 回数4回，参加人数94人（役立つ・関心をもった回答 70%） （内容）幼児食について，食事相談 ●総参加数 308 人 （役立つ・関心をもった回答 77%） ※男性の参加が昨年より7名増 （保健センター） 守谷市食生活改善推進員により，健康づくりのための食生活習慣を確立させる講義や調理実習を行った。 男性の仕事中心ライフスタイルを見直し，料理を作る機会を設けるとともに健康づくりに関する情報提供を行い，男女の地域活動参加を促す。教室の開催時期や場所等を考慮し，広く市民に呼びかけるため広報もしくは募集のちらし配布にて参加を募る。 また，市民の健全な食生活に関する意識向上を図るために，市内スーパーの店頭にて食に関する資料やヘルシーレシピを配布した。			
--	---	--	--	--

	○親子料理教室 回数 3 回, 参加人数 64 人 ○男性のための料理教室 回数 3 回, 参加人数 27 人 ○食育推進活動 6 月～3 月までの毎月 19 日 合計 1,025 人 *男女の内訳は不明 (学校給食センター) 市内小中学校の小学校 1 年生・3 年生・5 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象に, 給食時に栄養教諭, 学校栄養職員が各校を訪問し, 食に関する指導を実施。 ○指導内容 小学校 1 年生「給食センターを知ろう」, 小学校 3 年生「野菜について知ろう」, 小学校 5 年生「牛乳を飲もう」, 中学校 1 年生「熱中症を予防しよう」 ○訪問回数 市内全小中学校 81 回 参加人数 2,544 人 ○PTA 給食センター見学 高野小・松ヶ丘小・大井沢小 各 1 回 参加人数 77 人			
98 児童虐待防止に向けた意識啓発の促進 《概要》 広報紙等を通して児童虐待防止に向けた啓発を行う。	児童虐待防止に向けて, 守谷市子ども家庭支援ネットワーク協議会(要保護児童対策地域協議会)の中で情報交換をや勉強会をしていく。また, 広報紙に毎月, 相談・通報窓口を掲載し, 市民の方にも相談・通報窓口の周知を行う。	児童福祉課	2	a b g

99 児童虐待に関する相談体制の充実 《概要》 家庭相談員やケースワーカーによる相談や指導を行う。	平成 23 年度から臨床心理士が加わり、専門的な面接やカウンセリングをすることができるようになり、相談体制の充実が図れた。 ※平成 24 年度実績 虐待通報・相談ケース数 43 件（前年度 39 件） 養護相談ケース数 33 件（前年度 42 件）	児童福祉課	2	a b g
100 公共施設の施設整備 《概要》 施設の更新に合わせて授乳室やベビーベッドなどの設置を図る。	（財政課） 乳幼児等の保護者が市役所に来庁しやすい環境を整えるため、平成 22 年度に 1 階国保年金課横へ授乳室を設置済み。 平成 24 年度は、誰もが利用しやすい施設となるよう庁舎のスロープ表示板、障がい者用駐車場及び看板設置を実施。 平成 25 年度は、1 階障がい者用トイレの改修（自動ドア、オストメイト設置）と、パノラマビジョン撤去と情報コーナーの新設等有効活用策を検討。 （児童福祉課） 社会全体で子育てを支援し、次世代を担う子どもたちを健全に育成することを目的に、乳幼児を抱える保護者の皆さんが、施設利用時のほか、外出時でも授乳・オムツの交換を気兼ねなく安心して利用できる「赤ちゃんのえき」の提供。 ●市内公共施設 10 箇所（市役所、中央図書館、中央・北守谷・高野・郷州公民館、保健センター、南守谷・北守谷児童センター、地域子育て支援センター）利用者合計 2,920 件 ●民間事業所 4 事業所（イオンタウン守谷・ジョイフル本田守谷店・ユニー（株）アピタ守谷店・バースデИАクロスモール守谷店） *平成 25 年度は、いこいの郷常総に設置予定	財政課 児童福祉課 保健センター 生涯学習課 中央図書館	1 2 3 1 3	a c c d c e g c

	(保健センター) 保健センターに子どもの健診やその他所用で訪れた母子が、おむつ交換や授乳をするための「赤ちゃんの駅」を開設。 (生涯学習課) 中央・郷州・高野・北守谷公民館に「赤ちゃんのえき」を設置済みであり、授乳やおむつ交換など、子育て中の方にも安心して公民館を利用していただいた。 (中央図書館) 1 階児童フロアに設置されている、授乳やおむつ交換に利用できる「赤ちゃんのえき」の管理。			
101 安心して使える公園施設 設の整備 《概要》 公園遊具の安全点検を進めるとともに、市民との協働による樹木等の管理を推進し、安全で使いやすい公園を確保する。	・公園改修 ・ ・ ・ ・ ・ 遊具修繕及び交換、改修整備 ＊平成 24 年度実績 (9 公園) たけのこ公園, やまばと公園, そよかぜ公園, あんず公園, ひばり公園, かげろう公園, 松ヶ丘公園, おちゃやばし公園, 梅作公園 ・管理業務委託にて樹木, 草等の管理 ・協働作業実施 ＊平成 24 年度実績 5 回 参加者 230 人 平成 24 年 7 月 14 日, 12 月 15 日, 平成 25 年 2 月 16・25 日, 3 月 2 日	建設課	3	g

施策の方向2 ●地域で支えあう子育て環境づくり

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効 果																												
86再 ファミリー・サポート・センター事業の充実 《概要》 サービスメニューの充実や会員の確保を行うとともに、研修内容の充実を図る。	【在宅援助】習い事の送迎（定期利用）、冠婚葬祭出席、保護者の就労による預かりや、保護者の疾病や兄弟の疾病による一時的な預り利用が増加傾向。 【センター型援助】短時間就労のための利用が増加傾向。 <table><tr><th>利用年度</th><th>会員数 （人）</th><th>依頼件数 （件）</th></tr><tr><td>平成22年度</td><td>1,050</td><td>3,579</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>1,159</td><td>4,519</td></tr><tr><td>平成24年度</td><td>1,227</td><td>4,521</td></tr></table> 平成24年度の一時預かりの減は、定期利用者が幼稚園入園で使用しなくなったため。 ＊在宅援助依頼理由（保育所登所前の預かり、保育所送迎、児童クラブ迎えと預かり、習い事の援助他） ＊一時預かり利用理由（就労、買い物、通院、行事参加、習い事、その他） <table><tr><th></th><th>平成22年度</th><th>平成23年度</th><th>平成24年度</th></tr><tr><td>在宅件数</td><td>2,441</td><td>3,486</td><td>3,615</td></tr><tr><td>一時預かり数</td><td>1,138</td><td>1,033</td><td>906</td></tr><tr><td>合計（件）</td><td>3,579</td><td>4,519</td><td>4,521</td></tr></table> また、市民協働推進課との連携により、保育ルーム（市役所各課主催の会議・講演会・講座・説明会等における託児ルームでの託児）へのサポーター派遣を実施 ＊平成24年度実績：年間29回・サポーター延人数113人	利用年度	会員数 （人）	依頼件数 （件）	平成22年度	1,050	3,579	平成23年度	1,159	4,519	平成24年度	1,227	4,521		平成22年度	平成23年度	平成24年度	在宅件数	2,441	3,486	3,615	一時預かり数	1,138	1,033	906	合計（件）	3,579	4,519	4,521	児童福祉課	2	h
利用年度	会員数 （人）	依頼件数 （件）																														
平成22年度	1,050	3,579																														
平成23年度	1,159	4,519																														
平成24年度	1,227	4,521																														
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																													
在宅件数	2,441	3,486	3,615																													
一時預かり数	1,138	1,033	906																													
合計（件）	3,579	4,519	4,521																													

8 2 再 放課後子どもプラン事業の充実 《概要》 【放課後子ども教室】 地域の大人と子どもとの交流を図るため，地域住民の参加，協力により子ども達が放課後安全に過ごせる居場所を提供する。 【放課後児童クラブ】 保護者の就労等により，放課後に家庭が留守になる小学1年生から3年生の児童を対象に，遊びや集団生活の場を提供する。	・仕事により，放課後に家庭が留守になっている児童について，専用教室と空き教室で遊びの指導や生活指導を行い児童の健全育成を図った。 【児童クラブ】全小学校（9校）実施，利用人数：604人 【放課後子ども教室】全小学校（9校）実施，利用人数：469人 ・放課後子どもプラン事業として児童クラブ登録の児童も放課後子ども教室に参加し，異年齢の子どもや地域の大人と交流したり，ボランティアや指導員からいろいろな遊びや工作を教えてもらう等，子どもの安全・安心な居場所が広がった。 ・この事業にはボランティアはじめ，指導員等の職員や学校関係等多くの人達が参加し，まさに男女共同参画により成り立っている。今，人間関係がつかれずに会社で働く事ができない青年が増えていると聞かすが，この事業により，子どもたちが，遊んだり・喧嘩したり体験的経験をすることにより，将来，普通に人と人の輪がつかることができる人間になれることを期待したい。	生涯学習課	1	f h											
9 3 再 地域子育て支援センター事業の充実 《概要》 子育てに関する情報提供を行い，安心して子育てができるよう，個々の家庭に応じた支援を行うとともに，子育てサークル等の育児支援を行う。	【地域子育て支援センター・夢っ子】 広場の自由開放の実施 <table><tr><td>開催日数（日）</td><td colspan="2">1,014</td></tr><tr><td>実施箇所</td><td colspan="2">夢っ子ひろば 4 箇所，出前広場（3 箇所），園庭開放（1 箇所）</td></tr><tr><td rowspan="2">参加者数（人）</td><td colspan="2">20,689</td></tr><tr><td>親 9,649</td><td>子 11,040</td></tr></table>	開催日数（日）	1,014		実施箇所	夢っ子ひろば 4 箇所，出前広場（3 箇所），園庭開放（1 箇所）		参加者数（人）	20,689		親 9,649	子 11,040	児童福祉課	2	a b c e h
開催日数（日）	1,014														
実施箇所	夢っ子ひろば 4 箇所，出前広場（3 箇所），園庭開放（1 箇所）														
参加者数（人）	20,689														
	親 9,649	子 11,040													

行事

行事名	回数(回)	参加人数(人)	
夢っ子まつり	1	105	
		大人 56	子ども 49
健康スポーツフェスティバル	1	114	
		大人 49	子ども 65
夢っ子コンサート	1	428	
		大人 219	子ども 209

* 夢っ子祭りは常総運動公園改修工事のため、秋祭りとして規模縮小し、地域子育て支援センターで実施

子育て支援

内容	回数(回)	人数	
子育て講座	39	718	
		大人 356	子ども 362
サークル活動 場所の貸出し	168	1,913	
		大人 918	子ども 995

育児相談

- ・ 広場での相談相談・電話等 件数：60 件
- ・ ぽかぽか子育て教室（11 回開催）件数：96 件

【子育て支援センター「ねっこ」】

親子活動（戸外遊び等）

回数 22 回 参加者数 526 人（大人 260, 子ども 266）

講座（お母さんのリフレッシュ等）

回数 7 回 参加者数 95 人（大人 47, 子ども 48）

食育事業（レスト・れん）

回数 12 回 参加者数 597 人

	園庭開放（実施曜日：月～金） 参加者数 1,090 人（大人 517, 子ども 573） 育児相談 回数 85 回 イベント ・ねっこフリーマーケット（2 回, 419 人） ・ねっこ運動会（1 回, 222 人）			
5 2 再 スクールサポーター・学校支援ボランティア導入による学校行事への参加促進 《概要》 スクールサポーターや学校支援ボランティアの導入により、保護者や地域ボランティアが学校行事に参加しやすい環境をつくるとともに、地域ぐるみで子ども達を育む体制を整備する。	見守り隊, まるつけ先生, 読み聞かせ, 米作り, 裁縫の実技指導, バードウォッチングなど, すべての学校で実態に応じた内容で, 地域の人材を有効に活用し, 年間を通して実施。	指導室	2	b c g

主要課題2 ●生涯にわたる健康づくりの推進

施策の方向1 ●男女の身体的特徴の理解と健康を守るための意識の浸透

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効果
102 ライフステージに応じた健康相談の実施 《概要》 女性のライフステージに応じた課題に対応する健康相談を実施する。	健診結果相談会や窓口相談（随時）において、各年代の健康課題に添った相談を受けた。 40～75歳の女性を対象に、「骨粗しょう症検診」「骨粗しょう症予防教室」を開催。 ◎ 健診結果相談会及び窓口相談 男性 153人（延人数） 女性 205人（延人数） ◎「骨粗しょう症検診」「骨粗しょう症予防教室」 263人	保健センター	2	g i
103 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ※）の広報・啓発 《概要》 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの認識の浸透を図るため、啓発や情報提供を行う。	平成24年度は、内閣府・県からのチラシ・ポスター等が配布されなかったため、具体的な活動はなかった。 今後、市ホームページに情報掲載することで周知を図っていく。	市民協働推進課	4	a b c
104 小中学校における健康教育の推進 《概要》 小中学校において健康に関する正しい知識の普及啓発を図る。	保健学習「健やかな成長」「栄養と健康」「運動と健康」等の単元を中心に、男女の成長の特徴を理解させ、望ましい異性観や正しい性意識形成を図る授業を実施。また、栄養面・運動面からの健康に対する知識の形成を図る授業も実施。 ※市内小学5年～中学3年対象	指導室	2	a b c g

※ 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）

1994年（平成6年）にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、重要な人権のひとつとして認識されています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの中心的課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全な性生活、安全な妊娠・出産・子どもが健康に生まれ育つことなどがあり、思春期や更年期における健康上の問題が幅広く議論されています。

施策の方向2 ●母子保健サービスの充実

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効 果
105 母子の健康に関する広報の実施 《概要》 女性が安心して妊娠・出産の時期を過ごし、母子の健康が確保されるよう周知する。	・保健センター予定表で、母子保健事業の周知（全戸配布） ・子育て支援センター作成の子育てトライアングルブック中にも、母子保健の事業と相談窓口を掲載している。（子育てホームページも同様） ・母子保健推進員が妊婦訪問1回と生後2か月ころ「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、母子保健事業の紹介や子育て支援情報を提供している。 ・乳幼児健康診査のオリエンテーション時、各年齢の成長発達と親の関わり方を資料を渡しながらか説明している。	保健センター	3	ch
106 母子保健サービスの充実 《概要》 妊婦及び幼児を持つ家族が育児に関して正しく判断し、実践かつ自立でき、健康的な育児環境を保持できるようにするため、乳幼児健康診査、新生児訪問、乳幼児訪問指導、育児相談、予防接種などを実施する。	妊婦健康診査、乳幼児健康診査、訪問、保健指導事業などを展開し、疾病の早期発見、治療・養育に結びつけるほか、疾病予防のための生活習慣の見直しにつなげた。また、個別相談や家族支援を通し、育児不安の解消、虐待予防、早期発見に努めた。 【内容】 ・乳幼児健診 4か月児健診：661人(96.6%) 1歳6か月児健診：678人(97.6%) 3歳5か月児健診：664人(96.7%) ・生後4か月までの全戸訪問（新生児訪問事業、乳児家庭全戸訪問事業）：実施率 650人（95.0%） ・育児健康相談会：延 627人 ・親子健康支援事業 2歳児歯みがき教室：4回 38組 - 子育て教室：6回 99人	保健センター	1	i

	子育て支援講座：3回 延63人 ・妊婦訪問：7件，産婦訪問：518件 ・新生児・乳児訪問：489件，未熟児訪問：44件，幼児訪問：13件 ・委託医療機関での妊婦健康診査：14回 7,933件 ・乳児健康診査：1回 523件 ・離乳食教室：24回 579人 ・両親学級：8回 141組 ・母親学級：15回 延223人 【効果】 ・乳幼児健康診査受診者の発達確認のため心理相談員との相談を継続し，治療や療育教室につながり，子どもの発達や不安をもつ保護者を支えることができた。また，育児不安やストレスを抱える保護者に対し個別相談を行い，虐待予防や育児不安の解消が図られた。 ・子育て支援の教室では健康情報の提供や育児不安の解消のほか，仲間づくりをとおり，孤立しない子育て環境づくりが図られた。			
107 医療サービス体制の充実 《概要》 妊婦・乳幼児一般健康検査受診券の交付，休日夜間の小児救急医療体制を整備する。	・妊婦・乳幼児一般健康診査受診券の交付の実施。 ・休日夜間の小児救急医療体制の整備。 ○小児救急医療体制における近隣との連携 構成市町村（取手市・守谷市・利根町・つくばみらい市・常総市）による小児救急輪番制において，二つの輪番制病院で小児患者の受入れを行った。	保健センター	3	ch

病院名	患者数		うち守谷市民
ＪＡとりで 総合医療セ ンター	8,403		1,222
	夜間 6,539	休日 1,864	
総合守谷 第一病院	449		207
	夜間 390	休日 59	

単位（人）

※休日夜間における小児救急患者の医療の確保を目的に 4
市 1 町が病院群輪番制病院に負担金を納め、当番医は小児
救急医療を行った（常総地域における小児救急医療輪番制
病院運営費の負担金に関する協定書に基づく）。

施策の方向３●心身の健康保持・増進に向けての支援

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効 果
108 健康づくりに関する相談の充実 《概要》 一人ひとりの健康状態に応じた相談を実施する。	一人ひとりの健康状態に応じた相談を実施。 特定健診後の健診結果個別相談会を開催。相談者の健診結果や年齢等から見た健康課題に合わせた内容が中心である。 健康に関する電話及び窓口相談は随時対応した。 ＊平成 24 年度実績 ＜相談件数＞ 男 153 人 女 205 人	保健センター	3	i

109 各種健康検査の実施 《概要》 市民の健康増進を図るため、対象年齢に応じて各種健康検査及び健診を実施する。	各がん検診及び国民健康保険加入者（生活保護対象含む）対象の特定健康診査、後期高齢者対象の後期高齢者医療健康診査、健康増進法に基づく健康づくり健康診査を実施。 ＊平成 24 年度実績 ・ 特定健康診査（国保及び生活保護者） 集団検診日数 28 日 受診者 4,326 人 ・ 後期高齢者医療健康診査 集団検診日数 28 日 受診者 933 人 ・ 健康づくり健康診査 集団検診日数 24 日 受診者 198 人 ※特定健康診査、後期高齢者医療健康診査は集団健診以外に医療機関健診も実施（9月1日～12月20日） ・ 肺がん検診 集団検診日数 28 日 受診者 5,886 人 ・ 胃がん検診 集団検診日数 29 日 受診者 1,870 人 ・ 大腸がん検診 集団検診日数 29 日 受診者 2,789 人 ・ 乳がん検診 集団検診日数 20 日 受診者 1,517 人 ・ 子宮がん検診 集団検診日数 18 日 受診者 2,099 人 ※乳がん及び子宮がん検診は、集団検診以外に医療機関検診も実施（4月23日～3月30日）	保健センター	2	i
--	---	---------------	----------	----------

110 健康教室の実施 《概要》 健診の結果から生活指導等が必要となる市民を対象に「糖尿病教室」,「男のヘルスアップ教室」, 歯周病予防のための「大人の歯みがき教室」, 更年期について学ぶ「女性のための健康教室」を行う。	健診データを改善するための病態別の教室, 健康づくりの知識を提供する一般向け教室等, それぞれのテーマに沿って健康教室を開催。 ■病態別 ・糖尿病教室 6回 延参加者数 149人 実人数 30人 ・ヘルスメイク教室 4回×2期 延参加数 134人 実人数 42人 ■一般向 ・骨粗しょう症予防教室 3回 延参加者数 263人 実人数 105人 ・生活習慣病予防講座 2回 延参加者数 151人 実人数 95人 ・スマートライフ教室 5回 延 88人 実人数 28人	保健センター	3	a b d
111 健康もりや・健やか親子21計画の推進 《概要》 個人の力, 家族の力, 地域の力, 行政の力を合わせて, 一人ひとりが生きがいに満ち, 家族, 地域でふれあいながらいきいきと暮らすための施策を推進する。	個人の力, 家族の力, 地域の力, 行政の力を合わせて, 一人ひとりが生きがいに満ち, 家族, 地域でふれあいながらいきいき暮らすために事業を行った。 ＊平成24年度実績 ●高齢期の事業 「レッツスポーツしゃべり場」 月2回実施 参加延人数 322人 「シルバーリハビリ体操」 延人数 24,505人 ●壮年期の事業 「ミニ歩く会」 月1回実施 延人数 405人 「守谷ウォーキングくらぶ」 週1回 延人数 1,766人	保健センター	1	b c e g

	「食生活改善推進員」 延人数 2,859 人 …地域で食を通じた健康づくり運動を実践 「NPO おむすび」 延人数 170 人 …精神障がい者が集える場を提供 ●乳幼児期の事業 「地域で子育て中の親子の交流活動」 参加延組数 273 組 「子育てサークルリーダー会議」 年 1 回 延人数 23 人			
1 1 2 薬物乱用防止に関する啓発活動の実施 《概要》 薬物乱用による健康被害等についての正しい知識の周知を図るための広報活動と防止対策を実施する。	・ボランティア団体との会議開催による情報交換会を年 4 回実施。 ・学校からの依頼を受け、講座を計 4 回、養護教員との勉強会を 1 回開催。 ・薬物乱用防止だけの目的だけでは、学生は興味を持ちにくいため、今後は、「自分の身体を守る」をテーマに、タバコ、お酒なども含めてセットとして講座を開催してい。	保健センター	2	b
1 1 3 禁煙・飲酒が健康に及ぼす弊害についての情報提供 《概要》 禁煙や飲酒が体に与える様々な影響についての情報を提供する。	・飲酒については、自殺予防の目的で講座を実施。お酒に対する偏見や危険を知らない市民が多く今後も継続して行う必要がある。 講座回数 3 回 参加者数 女 55 人、男性 5 名 ・喫煙については、喫煙予防教育及び禁煙教育を展開した。 喫煙予防教育：市内で依頼があった中学校の 1 年生（177 名）を対象に 1 回開催 禁煙教育：特定健診会場にて、喫煙者で希望する方（32 名）に対して、スモーカーライザーの測定及び禁煙教育を 2 回開催	保健センター	3	b

114 スポーツ・レクリエーションを通した健康づくりの促進 《概要》 市民一人ひとりが、必要に応じて楽しくスポーツに親しむことができる環境をつくるとともに各年代に応じた大会の実施やニュースポーツ等の普及・振興を図り、市民の健康づくりを促進する。	スポーツ大会では、個人の技能向上と参加者同士の交流を深めることができた。 スポーツ教室では、親しみやすい活動を通して参加者の健康増進と体力向上を図る手段となった。 【スポーツ大会】9大会 ・市民グラウンドゴルフ大会 男45・女23・計68人 ・市民卓球大会 男92・女25・計117人 ・市民テニス大会 23組／男36・女10・計46人 ・市民軟式野球大会 4日間8チーム／男性のみ210人 ・市民ソフトボール大会 8チーム／男性のみ159人 ・市民ソフトテニス大会 128組／男98・女158 計256人 ・市民バレーボール大会 16チーム／男37・女128 計165人 ・市民バドミントン大会 112組／男78・女146 計224人 ・市民バスケットボール大会 2日間16チーム／男126・女67 計193人 【スポーツ教室】2教室 ・初心者水泳教室 男10・女14・計24人 ・水中ウォーキング教室 男5・女12・計17人 【健康スポーツフェスティバル】10月28日 ・めざせ！リオデジャネイロオリンピック（体力測定） 雨天のため中止 ・コンピューター健康診断 計120人 ・プール無料開放 計178人	生涯学習課	2	e g
---	--	-------	---	-----

115 メンタルヘルス事業の 充実 《概要》 精神保健の充実を図るため、こ ころの健康相談の実施や職場に おけるメンタルヘルス診断、カ ウンセリングを実施する。	(保健センター) メンタルヘルスは、偏見の問題もあり、まず相談窓口を知 ってもらふ啓発と、実際相談等を受ける、2つの対策が求め られる。 相談としては、子どもから大人まで幅広い対象にわたる相 談について、電話、面接、訪問等により対応した。プライバ シーを守るための部屋確保及び担当者のスケジュール調整 のため、予約制としている(延相談件数 505 件)。 自ら相談窓口を希望して来所するケース、他の窓口から紹 介され来所するケースと半々であり、法律相談等に来所され る方が病気やその他の問題を抱えていることも多い。 社会構造の変化により、経済的な問題や単身化が進み、ハ イリスク者と呼ばれる方たちの潜在が考えられ、今後この対 応を実施していく。そのためには、法律、人権等の相談とと もに、「こころの相談」を総合相談として一般の人が利用し やすい仕組みとすることが必要である。 (総務課) 職員の健康を維持することで、疾病による長期休暇や公務 災害の発生を防ぎ、働きやすい職場環境の整備を目的とし て、セルフケアに関する職員研修やインターネットを利用し たストレス・メンタルヘルス・チェック、カウンセリング窓 口の設置など、メンタルヘルス事業の充実を図った。 【研修会内容】 ・「管理職のためのメンタルヘルスセミナー」 主催 茨城県市町村職員共済組合 参加者 4 人	保健センター 総務課	3 3	a b b
---	--	-----------------------	----------------	------------------

	・「セルフケアセミナー」 参加者 214 人（対象：主事・主任・係長） 【メンタルヘルスストレスチェック】 対象 全職員（352 人） 回数 年 1 回			
--	---	--	--	--

施策の方向4 ●高齢者・障害のある人に対する自立支援

具体的事業	実施状況	担当課	達成度	効 果
1 1 6 高齢者の在宅生活支援の充実 《概要》 ひとり暮らしの高齢者を対象に、配食サービス、巡回訪問など、自立した生活を確認するための介護予防及び生活支援サービスの充実を図る。	65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象として、自立した生活を確認するための生活支援サービス充実を図った。 ＊平成 24 年度実績 ・食の自立支援サービス（配食サービス） 週 3 回 利用者数 23 人 延配食数 2,032 食 ・軽度生活援助事業 週 2 時間まで 利用者数 29 人 利用時間数 1,846 時間 ・寝具洗濯乾燥消毒サービス 年 2 回 利用者数 33 人 ・緊急通報サービス 設置台数 55 台 ・愛の定期便（ひとり暮らし高齢者乳製品配布事業） 週 2 回 1 回 2 本配布 利用者数 112 人	介護福祉課	3	b
1 1 7 介護予防教室の実施 《概要》 要介護状態ではないものの、何らかの支援が必要な高齢者に、要介護状態予防や軽減・悪化防	・出前講座の開催 65 歳以上の方が運営するサークル、老人クラブ、出前サロン等の団体等に対し、地域包括支援センターの保健師、管理栄養士、歯科衛生士等が、健康に関する講座を実施	介護福祉課	2	b f g

止を図るため、介護予防教室を実施する。	【内容】 「転倒予防と住宅改修のヒント」 「転倒しにくい体づくり」 「歯周病を防ぎましょう～80才で20本！～」 「いつまでも美味しく安全に食べるために！～「噛む力」を高めよう・「誤嚥・窒息」予防～」 「高血圧と塩分（できることからはじめよう減塩対策）」 「骨げんき！（骨粗しょう症予防）」 「新常識 「菜食主義」より「バランス食」」			
118 生活機能相談の実施 《概要》 身の回りのことや外出等に不自由がでてきたときに、保健師や作業療法士、理学療法士による訪問や相談により、生活機能向上を支援する。	【内容】 65 歳以上の高齢者で、自宅での生活において何らかの不安を抱えている人を対象に、保健師や理学療法士等の専門家が相談に応じた。 【相談日】毎週火曜 午前 10 時～午後 4 時まで（予約制） ＊平成 24 年度実績 相談件数 79 件	介護福祉課	3	b c f
119 げんきサロン・出前サロンの充実（生きがい活動支援通所事業） 《概要》 住み慣れた地域のげんきサロンや出前サロンでいきいきと楽しく過ごすことができるよう、趣味活動や日常動作訓練等を実施し、心身機能の向上と介護予防を図る。	（介護福祉課） ・出前サロン 閉じこもり防止や仲間づくりを目的に、地区公民館や自治集会所を活用して開設。高齢者が身近な場所で交流できるよう、地域のボランティアや指導員と音楽や体操、お茶のみなどの活動を行い、一日楽しく過ごせる場となっている。 開催日 月～金 午前 10 時から午後 3 時まで 開設数 23 か所 開催回数 580 回 参加者数 590 人	介護福祉課 社会福祉協議会	2 3	b e f g i

	・生きがい活動支援通所事業（げんき館） レインボー体操，絵手紙，書道，俳句，音楽等の活動をおし，健康維持や新しい出会いを支援することで，いつまでも健康でいきいきと楽しく過ごすことができる場となった。 開催日 月～金 午前 10 時から午後 3 時まで （社会福祉協議会） いきいきプラザ・げんき館とミ・ナーデげんき館において，市から委託を受け，地域包括支援センターにて利用決定後，介護予防事業を実施。 ＊平成 24 年度実績 ・げんき館（開館日 月～金） 年齢層 70～96 歳 利用登録者数 79 人 延利用者数 2,352 人 ・ミ・ナーデげんき館（開館日 火・水・金） 年齢層 66～86 歳 利用登録者数 19 人 延利用者数 619 人			
120 障がいのある人への就労支援 《概要》 障がいのある人の一般雇用・就労を促進し，職業訓練から就職，職場定着，離職後の相談等，ハローワーク，県の関係機関，市内事業所等との連携を強化し，遺憾した就労支援を行う。	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスを実施。 【内容】 訓練等給付（就労継続支援，自立訓練，就労移行支援等）により社会生活，就労機会が得られるよう支援。 【実施期間】 通年 ＊平成 24 年度訓練等給付利用者数 82 人	社会福祉課	1	b

1 2 1 障がいのある人の居宅生活への支援 《概要》 日常生活を営むことに支障がある障がいのある人が、地域社会の中で自らの選択・決定のもとに、主体的な生活が送れるよう、利用ニーズを的確に把握し、居宅生活を支援する。	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を実施。 【内容】 介護給付事業（居宅介護、生活介護、短期入所等）及び障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス等）により居宅にて生活することを支援する。 【実施期間】 通年 ＊平成 24 年度実績 ・介護給付事業利用者数 157 人 ・障害児通所支援事業利用者数 92 人	社会福祉課	1	b
1 2 2 障がいのある人へのコミュニケーション支援（手話通訳等） 《概要》 障がいのある人のコミュニケーションを支援するため、県と連携して手話奉仕員養成を促進。	社団法人茨城聴覚障害者協会に業務委託。 手話通訳又は要約筆記による情報手段が必要な聴覚障がい者に対し、協会に登録する手話通訳者、要約筆記者を随時派遣。 利用者負担額はない。 ＊平成 24 年度実績 延 106 回派遣（前年度 延 86 回）	社会福祉課	1	b
1 2 3 子ども療育教室での指導の実施 《概要》 心身に障がいのある、もしくは発達に何らかの問題を持つ利用者の成長を支援するために親子	発達に何らかの問題を有する児童（小学校就学前）の成長を助長するために、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応などの療育訓練を実施（実施期間：通年）。 ・集団指導 児童の年齢、実態を考慮して小集団での指導を行った（2グループ編成）。 ・個別指導 指導者と1対1での言語、認知等の指導を行っ	社会福祉課	1	g

で通園し、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応などの療育訓練を実施する。	た（１回１時間，１人月３回まで）。 ・水療育訓練 専門講師によるスキンシップ水療育訓練を行った（常総運動公園室内温水プールにて年８回実施）。 ・各種相談 発達に関すること，就園，就学に関すること等，保護者からの相談を受けた（随時）。 保護者のニーズに応じて医療，保健，福祉，教育等，各関係機関との連携を図った。 ・行事 懇談会（年２回），個人面談を行った。			
９６再 医療福祉制度の充実 《概要》 乳幼児及び児童，妊産婦，重度障害者並びに１８歳未満の児童を養育するひとり親家族の健康の保持増進を図り，福祉の向上 少子化対策及び子どもの健やかな成長のため，医療費の一部を助成する。	マル福制度で，小児（０歳から小学校３年生），妊産婦，重度障がい者，ひとり親（１８歳未満の児童・２０歳未満の障がい児・２０歳未満の高校在学者を監護するひとり親及び子）に対し，医療保険により受診した際の医療費助成を行った。妊産婦に対しては，平成２３年４月の制度改正により受給者になるための診断書の提出が不要になり，受給者の利便性を向上させた。 また，守谷市単独事業「すこやか医療費助成事業」を実施し，所得制限によりマル福制度を利用できない小児及び妊産婦，並びにマル福制度対象外の小学４年生から６年生までの小児及び産婦人科以外の医療を受けた妊産婦に対する医療費助成を行った。 医療費の助成を行うことにより，経済的負担を軽減し，安心して医療を受けやすい環境を整えることにより早期治療へもつながった。さらに健康の保持と生活が安定することにより，男女の別なく社会復帰や継続して仕事に従事できる環境をつくることが可能となった。	国保年金課	1	f h

124 地域ケアシステムの充 実 《概要》 高齢者や障がいのある人が家庭 や地域の中で安心して暮らせる よう、一人ひとりに福祉・保健・ 医療の関係者がチームを編成 し、地域全体で総合的に各種サ ービスを提供する。	(社会福祉課) 平成24年度は、市内の事業所、障がい者団体等のメンバ ーで構成する地域ケアシステムサービス調整会議を2回開 催し、障がい者等が地域で生活できるような支援方法につい て協議を行った (社会福祉協議会) ・地域に暮らす介護保険給付対象者、一人暮らし高齢者、他 要援護高齢者、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい 者、子育て家族等から相談を受けた。 ・クイック会議を開催して、関係機関が連絡調整し連携。 ・医師、作業療法士、訪問看護ステーション、民生委員、福 祉施設職員、障がい者団体、障がい者相談員、ボランティ ア団体、行政職員からなる会議員で構成され、オブザーバ ーとして総合事務所福祉課職員、保健所職員が加わり、対 象者一人ひとりの状態に合わせ、効率的かつ総合的に福 祉・保健・医療サービスを提供するため、会議員によるサ ービス調整会議を設置し、検討。 ＊平成24年度実績 相談件数 延568件 会議開催数 173回	社会福祉課 介護福祉課 社会福祉協議会	2 3 3	e e f f g
---	---	--	----------------------------	--------------------------------